

『最後で最高の読書祭り！』

2月18日(水)、立小野小学校で最後の読書祭りが行われた。立小野小学校は3月末日で閉校となるため、これまで読書活動でお世話になった方々に感謝の気持ちを表そうと、図書委員会が中心となって読書祭りを計画。

昨年の9月から「母校の後輩たちのために、なにか役立ちたい」と、鹿児島市から月に2回ほど読み聞かせに来られている窪田喜代子さんが、本の読み聞かせをされるなど、楽しいひとときを過ごした。

最後に、子ども達一人ひとりから手作りのメッセージカードやしおりなどが贈られると、窪田さんは「迷惑だと思っていたけれどプレゼントまでもらえ、子ども達との楽しい思い出ができました。」と喜び、最後で最高の読書祭りとなった。



『篤姫に学ぶ大崎の未来！』

2月21日(土)、町中央公民館において、生涯学習文化講演会が開催され、町内外から多くの方が訪れました。

講演会には鹿児島大学法文学部教授でNHK大河ドラマ『篤姫』の時代考証を担当された原口泉教授が『篤姫に学ぶ大崎の未来』と題して、『篤姫』での撮影現場のエピソードなどをおり交ぜながら約2時間講演され、来場された人は、大河ドラマのシーンを思い浮かべながら聞いているようでした。

また、ドラマでは分からない大奥の給料や、篤姫が飼っていた猫の餌代の高さに、驚きの声が上がっていました。

『大崎スポーツフェスタが開催！』

2月8日(日)、大崎町総合体育館で第2回となる大崎スポーツフェスタが、大崎スポーツクラブ設立準備委員会の主催により開催されました。

当日は、3歳の幼児から70歳代の参加があり、フットサル、バドミントン、スポーツ吹き矢の3種目を午前中に練習し、午後よりそれぞれの競技を大会形式で行いました。参加者のなかには、初めての競技にチャレンジされる人もいらっしゃったようでした。

また、フットサルには日本女子サッカーリーグ加盟のジュブリーレ鹿児島(旧・鴨池アサヒナ)の選手の皆さんも参加し、プロの技術に会場は大いに盛り上がりました。

